

令和4年度 西金沢地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化率が高く山坂も多いエリアですが、移動販売車の運行が始まり買物困窮への対策が進んでいます。また、住民の健康意識が高く、自治会町内会、ボランティア活動に熱心な住民が多いのも特徴です。しかし、高齢化が進み活発であった活動を引き継いでくれる担い手を確保するのが難しい現状です。今後は、自治会・町内会を超えた見守りネットワーク、ボランティア活動、多世代交流の機会を増やし、住民同士が支え合う仕組みづくりを目指します。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・新規エリアやケアプラザまで遠いエリアへ、案内媒体を作成し配布をすることで、問題を抱える世帯の早期発見や孤立を防ぐ取り組みを行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・関係機関のネットワークを活用し、支え合い見守りマップを作成する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・ちよいボラのマッチング掲示板をつくる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・敷地内に「にしかな農園」をつくり、子ども・障害・高齢者・引きこもり・閉じこもり・不登校の方等、誰もが自由に参加でき、地域交流・社会参加の機会を創出する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・ケアプラザ主催の介護予防講座の開催回数を増やす。 ・元気づくりステーションを新規で立ち上げる。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・包括担当エリアを記載した相談窓口案内を作成し、地域住民や民生委員などへ配布、身近な相談窓口として電話相談も受け付けていることを周知しました。
・ケアプラザ主催の介護予防講座はケアプラザの芝生のエリアなど独自の環境を積極的に活用して開催しました。内容はロコモティブシンドローム予防、栄養、オーラルフレイル予防を始め、ウォーキングやスリーAなどなじみがあり取り組みやすいものから、ポッチャを取り入れるなど、多彩な内容でより多くの方に参加いただけるように開催しました。特にポッチャはエリア内で活動が広がっており、ポッチャや脳トレに取り組む自主グループ「みんなでポッチャ」の立ち上がりの支援や、自治会館等への出張講座の実施とともに、「だれでもポッチャ」では多世代交流や若い世代も健康づくりに関心を持っていただけるきっかけとなりました。次年度も幅広い世代が介護予防や健康づくりに取り組めるような取り組みを進めてまいります。
・西金沢では、Withコロナを掲げ「出来ない事より出来る事を工夫する」をモットーに進めてきました。地域の大きなイベントの1つとなる「だれでもカレー」を支え合い連絡会の構成員が中心となり、3年ぶりに開催しました。コロナ禍の為、イベントの代わりに「だれでもポッチャ」としてポッチャに参加できるブースをつくり、お子さまの参加も増え、目的である多世代交流の場として子どもから高齢者まで200名近い方が参加されました。

区からのコメント

昨年度から一部圏域が変更になりましたが、ケアプラザから遠方のエリアも含めて積極的に出向かれ周知や相談に応じられています。また、移動販売や支え合い連絡会などの機会も活用して地域の声を丁寧に吸い上げ、今年度は3年ぶりに「だれでもカレー」の開催に繋がりました。今後も地域の情報をケアプラザ全体で共有し、各職種の強みを活かしながら一丸となって取組を進めていただくようお願いいたします。
民生委員やケアマネジャー等との連携を密にし、支援の必要な世帯に対して丁寧に訪問をしながら関係機関に繋いでいただいています。今後も支援が必要な世帯の増加が見込まれることから、地域の課題やニーズに応じた事業を展開していただくとともに、より強固なネットワークを構築していただきますようお願いいたします。